



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

悠學館という場所で

司書 中熊美智代

高校時代、私は図書館があまり好きではなかった。でも司書になった。「先生、僕は悠學館で本を借りません。二年前、鶴丸高校に着任してすぐの頃、ある生徒から言われた言葉だった。初めての高校勤務、初めて接する高校生、何もかもよく分からない毎日の中で突然言われた言葉にショックを受けた。本を読むのが嫌いなのかしら？どうしたら好きになつてくれるかな。一瞬にしているような感じが頭の中を駆け巡った。しかし、それは杞憂だった。よくよく話を聞いてみると、本を借りない宣言をした生徒は大変な本好きだった。好きなのになぜ本を借りないのか。それは、家に本を持って帰るとずつと読んでしまつて勉強ができなくなつてしまつてから、昼休みに悠學館に来てこの時間だけ決めて読んでいるのだ、ということだった。本を借りない＝本が嫌い、ではないのだということに気づかされ、頭をガツンと殴られたような衝撃を受けた。その生徒は、たびたび悠學館に足を運んで熱心に読書をしていた。

大切な一冊となつていく。忘れられない一冊に出会えたから司書になれたのかもかもしれない、本を借りない宣言をした生徒に出会えたから司書が続けられているのかもかもしれない。悠學館には毎日いろいろな生徒がやってくる。勉強に燃えている者、ゆつたりと静かに読書をする者、新聞や雑誌に目を通して来る者、ちよつと疲れた心を休めている者……。誰でも気軽にいろいろな目的で（もちろん目的がない）来るのができる場所が悠學館だ。毎日足繁く通っている人も、たまに気が向いて来た人も、この悠學館でぜひ心揺さぶる、人生の糧となる一冊に出会ってほしいと心から願っている。



悠學館の様子。放課後、休日、昼休み、……、時を問わず、悠學館には多くの生徒が訪れます。

脈々と引き継がれる鶴丸イズム

一学年主任 徳留健作

心に残る一冊がある。「ちいさなちいさな王様」（アケセル・ハッケ作 ミヒヤエール・ゾーヴァ絵 講談社）表紙絵がとても印象的で手に取った本だった。登場人物は、僕と王様。ある日、僕のところへ人差し指サイズの王様が現れる。グミが大好きな太つちよの王様だ。王様の国では、成長すればするほど体はどんどん小さくなり、最後は見えなくなつて人生が終わるのだという。私たちの世界では、成長すれば大きくなるのが当たり前。でも、今当たり前だと思つていないことが、実は他の国では当たり前ではないこともあるのかと思うと、それまでの価値観が一瞬にして崩れた気がした。ガツンと頭を殴られたような衝撃を受けた。この本を手にとつた場所は、あまり好きではなかった高校の図書館だった。大人になつた今この本を読んでも、ガツンと頭を殴られるような衝撃はないが、私の

「鶴丸イズム」という言葉を聞いたことがあるだろうか。訳すと「鶴丸主義」「鶴丸らしさ」だろうか。私は敢えて「鶴丸だから」と訳したい。新入生は合格が決まると、「鶴丸高校へ入学できて良かったですね」と周りから賛辞を受け、合格に向けて努力し自分で勝ち取つた誇りを胸に入學してきて、授業やテストのレベルの高さ、求められる学習量、部活動との両立の難

しきで苦しみむことになる。そんな時に浮かぶのが「どうしてこんな努力しなければならぬのだろ」という疑問である。答えは簡単である。それが「鶴丸だから」である。今年七月十三日から十五日まで、二泊三日の日程で修学旅行を無事終了することができた。関東鶴丸同窓会をはじめ、これまで準備に御尽力くださった旅行者、職員、生徒、保護者、全ての関係者に感謝申し上げたい。



今年七月十三日から十五日まで、二泊三日の日程で修学旅行を無事終了することができた。関東鶴丸同窓会をはじめ、これまで準備に御尽力くださった旅行者、職員、生徒、保護者、全ての関係者に感謝申し上げたい。

その後の夕食、横浜中華街のレストランに集合した。中華料理の食べ放題は、生徒にも好評だった。その味を堪能しただけでなく、友との語り合いで一日を振り返り、翌日の鋭気を養うことができたようであった。そしてホテルへ向かうバスの車窓から見える都会の夜景に感動し、光り輝くスカイツリーのイルミネーションに胸をときめかせた生徒も多かったようである。二日目、鶴丸の修学旅行の柱ともいえる「GO鶴セミナー」当日である。朝食から緊張した面持ちだった。出発後の様子も気がかりではあったが、訪問後にディズニールゾートに到着した時の満足げな表情から、貴重な時間を過ごせたことが見て取れる。午後からのディズニールゾートでの時

間には、夜にゲリラ豪雨に見舞われはしたが、日常では味わえない夢のような一時を過ごし、修学旅行の思い出のページとしてその胸に刻み込まれたことであろう。最終日も、生憎の小雨となった。東京大学訪問では、十分な校内散策はできなかったが、先輩の講話や動物医療センターの施設などを見学し、より専門的かつ最先端の学問の研究がなされている大学の雰囲気を感じた。味わえたようである。その後の自主研修を、今年上野周辺だけでなく東京全体に広がっていた。集合場所も初めて訪れるお台場に変更したため、飛行機の出発時間も気になり、果たして集合時間に間に合うだろうかかと心配したが、さすがは鶴丸生。全員無事到着し、予定通り三日間の修学旅行を終えることができた。

猛暑に涼やかな音楽の贈り物

第三十九回定期演奏会

猛暑が続く八月十八日、今年も恒例の定期演奏会が開かれました。この日は、夏期休業期間を終えて前期の後半がスタートした日。生徒たちは午前中の授業を終えて宝山ホールに移動、午後二時の開演を待ちます。この定期演奏会のために準備とリハーサルを重ねてきた音楽部と吹奏楽部、そして両部OB・OGの皆さんが、趣向を凝らしたステージで観客を魅了します。コンクール発表曲ばかりでなく、アニメやポップスを取り入れたダンスまで披露したステージに、全校生徒や一般の方々も心から楽しんでいました。

第三部では、大学で声楽を学ぶ萩智美さん（六十四回生）が、濱田千幸さん（同）のピアノ伴奏で、メゾソプラノ独唱を披露。また、フイナーレでは恒例となったハレルヤコーラスで会場が一体となり、盛況のうちに幕を下ろしました。暑い一日でしたが、涼やかな音色に心が洗われた演奏会でした。



文化系部活動の活躍

文化系の部活動に勤しむ生徒たちも、活躍しています。伝統ある百人一首部は、全国大会の個人戦でも上位入賞を果たしています。

- ◆全国大会
 - 〔百人一首部〕
 - 第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
 - 個人B級 第4位 東天
 - 右同 第4位 前田水樹
 - 個人D級 第1位 速見雅史
 - 右同 第4位 宮田茉奈
 - ◆鹿児島県大会
 - 〔百人一首部〕
 - 第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会鹿児島県予選
 - 団体 優勝 登尾愛梨
 - 個人 優勝 大重裕也
 - 〔書道部〕
 - 第29回蘭亭書道展
 - 鹿児島県教育委員会賞 立本万葉
- ※この他、川畑イサム君（一年）が、国体山岳競技の強化指定選手に選ばれています。

9月の行事予定

9月		食堂
1木	前期末考査(4日目)	×
2金		○
3土	体育祭練習・学年裁量	×
4日		×
5月	学年朝会 スクールカウンセリング 1,2年体育祭練習(5,6限) 体育祭各係会(7限)	○
6火	3,4,5,6,7限の授業 全学年体育祭練習(6,7限)	○
7水	1,2年:2,3,4,5,6限の授業 体育祭練習(6,7限) 3年:2,3,4,5,6,1,7限の授業	○
8木	体育祭準備・予行 3年:1限授業後予行	○
9金	1,2年合同練習(6,7限) 3年実力考査時間割発表 学校安全の日	○
10土	第68回体育祭	×
11日	体育祭予備日	×
12月	体育祭代休日	×
13火		○
14水	月曜の授業	○
15木	45分7限授業	○
16金	3年実力考査(1日目)	○
17土	3年実力考査(2日目) 1年GO鶴セミナー 2年GO鶴セミナー発表会	×
18日		×
19日	敬老の日	×
20火	第4回職員会議 40分7限授業	○
21水		○
22木	秋分の日	×
23金		○
24土	悠学講座③	×
25日		×
26月	前期終業式 大掃除	×
27火		×
28水		×
29木		×
30金		×